

Vol.
03
2020年

一般社団法人 日本サイクルツーリズム推進協会

JCTA 活動報告 Annual Report



"ウイズ・コロナ"時代に新しい力を!

2020年クローズアップ

特集1 インバウンド英語講習が始動

特集3 ガイド向け賠償保険を導入

特集2 子供の自転車教室が大人気!

特集4 オンラインセミナーを開催

JCTA認定サイクリングガイドのための インバウンド英語講座始動！

2020.10.
to the Bright Future!

海外のサイクリスト誘致に向けて、第一回インバウンド向け英語講座を開催しました
この講習は中学程度の英語で通じる英語を使ってツアーで必要となる表現を、出迎えから見送りまで14の場面別にその表現方法を学ぶものです

2021年は、オンラインセミナーと実地の両方で
本インバウンド英語講座の開講を予定しています

2020年は青森県
五所川原市の皆様に
ご受講いただきました！



Close
up!



インバウンド誘致に向けた基本的な知識やノウハウを1日目の座学で学習します



場面別のビデオを見ながら、表現の一つ一つを習得し、応用していきます



ガイド実習はあいにくの雨でしたが、身振り手振りも交えて、全員が英語で案内しました

01 受講して 感じたこと

Native Guideの後ろについて
ガイドの指示を繰り返し真似て
練習できたのがすごく良かった
回を重ねて経験を積みたいと
思います。
自信が少しつきました

A. N.さん
(英会話は少し仕事で使用)

02 受講して 感じたこと

英語は深く考えず、伝いたい
ことをわかりやすく簡潔に
伝えると、案外伝わるのだと
感じました
簡潔に伝える技術は、自分の
身を守るためにも必要です

S. H.さん
(高校以来、英語に触れていない)

03 受講して 感じたこと

全体的なスケジュールもちょう
ど良く、サイクリングで使う
英語を学ぶことができました
スキルアップには最高の練習だ
と思うので、ぜひ、人にも
勧めたいと思います

W. T.さん
(仕事で時々使用。英検2級)

"ウィズ・コロナ"の時代へ 未来に向け着実に歩を進めよう！

アンケート調査では、ご受講いただいた全員から、非常に良かったという評価をいただきました。
また主催者から、以下のコメントをいただきました。

場面別ビデオに加え、ワークブックや語彙表、そして講師による模擬ツアーなど、充実した内容で、
頭で理解するだけでなく感覚的な部分にもアプローチする内容で、英語を話すことに抵抗のある方でも
インプット&アウトプットしやすい構成だったと感じました。

04 受講して 感じたこと

身のある内容でした
イラスト、ゼスチャー、プロ
ークン英語で何とか運用して
いますが、きちんと言葉でな
いと伝わらない部分もあるの
で、身につけたいと思います。

H. O.さん
(実際にガイドで英語を使用)

05 受講して 感じたこと

丁寧な指導には感謝したい
英語力に個人差があっても
平等に対応してくれて、
嬉しかった
スキルアップに最高の練習
だと思う

E. M.さん
(高校以来、英語を使っていない)

06 受講して 感じたこと

受講中に何気なく出てくる言
葉(英語)をいろいろと聞け
たのが非常に良かった
常に勉強を続けていきたい
また、場数や経験を積む場は
数多く欲しい

M. B.さん
(仕事で時々英語を使っている)



Bikeability 自転車教室



Bikeability = Bike + Ability
英国で生まれた自転車教育です！

子供のためのBikeability 自転車教室が満員に

新型コロナ感染拡大にともないいくつかの教室が中止になりましたが、その中で東京都千代田区の皇居パレスサイドと茨城県土浦市で自転車教室を開催させていただくことができました。

いずれも昨年からの取組で認知も広がったせいか、毎回キャンセル待ちが出るほどの人気です

既に2021年1月以降も満杯で、インストラクターの一の養成が急務となっています

JCTA認定のインストラクターが大活躍！



皇居パレスサイド Bikeability教室

10/25 小学校低学年を対象とした自転車教室を開催しました。引き続き、3月まで教室を開催します
主催：JCTA



2日間で80名以上の 子供達が集まりました

11/14,21の2日間、茨城県土浦市にて、未就学児を対象としたキックバイクによる自転車教室を開催しました
主催：土浦市

インストラクター 養成講座

1月と10月に養成講座を開講し、新たに4名のサイクルインストラクターが誕生しました。

JCTAでは、より多くの方々に自転車に楽しんでいただくために2021年も引き続き、インストラクターの養成、並びに自転車教室の開催を行って参ります



サイクリングガイド養成講座



ガイド養成講座も25回を数えるほどになりました

和歌山や北海道倶知安町、そして、南北海道、東京と4箇所ガイド養成講座を行い、約20名のガイドさんが新たに誕生しました。

今年はガイドの皆様が企画されたツアーも中止や延期を余儀なくされましたが、この時期こそ力を蓄える時と捉え、来るべきサイクルツーリズムの本格再開に備えたいと思います。

写真左：ガイド実習@北海道倶知安町

写真下：ツアー企画プレゼンテーション@南北海道

<賠償保険を導入>

2020年9月1日にJCTA認定サイクリングガイドさんを対象とした、賠償保険を導入いたしました。（年会費に含まれます）

これにより、認定ガイドさんが催行、または担当する全サイクリングツアーに本賠償保険が適用されます。



目的：会員が実施するサイクリングツアーにおける賠償事故に対応
※ 保険料は年会費に含まれます

契約者	日本サイクルツーリズム推進協会
被保険者	日本サイクルツーリズム推進協会
1名当たり支払限度額	1億円
1事故又は1請求当たり支払限度額	1億円
被害者治療費用担保(治療費)	1名当たり500千円
被害者治療費用担保(死亡/就労)	1事故当り1億円

※ 保険適用には
事前に申請が必要です

会員専用サイトから申込フォームをダウンロードし、必要事項をご記入いただき、前日までにJCTA事務局にご送付ください

宛先：info@cycletourismjp.org

2021年、ポスト・コロナを見据えて

2020年は新型コロナ一色の年でした。

JCTAでは春の緊急事態宣言下において、提携する英国サイクリング協会Cycling UKが発信する様々なニュースレターを翻訳し、“感染しない・させないサイクリング”キャンペーンを実施し、3密を避けたサイクリングノウハウや急増した自転車通勤初心者向けに、危険を回避するための安全走行についての提言を行いました。

会員の声

サイクリングガイド

女性も安心して参加できる ツアーを開催していきたい

来年（2021年）は、女性が楽しめる自転車旅やイベント等を実施したいと思っています。そのために、総合旅行業取扱管理者の国家資格も取得しました。コロナが収まっていれば海外にも行きたいですね。男性ほど体力がない、早く走ることができない、でも自転車大好き！という女性も安心してご参加いただけるものにしていく予定です。

近藤 美子さん

JCTA認定ガイド
千葉県在住

総合旅行業務取扱管理者
(一社)日本ウォーキング協会
主任ウォーキング指導員



会員の声

サイクルインストラクター

子供たちの笑顔や 笑い声は格別です

私自身、自転車は街乗り程度だったのでインストラクターになれるか不安でした。しかし子どもたちの反応を想像しながらセッションプランやゲームを考えるのは楽しい作業でした。実際の教室は想定外のことが多々あり想像より大変ですが、その子どもたちの笑顔や笑い声は格別です！
ぜひ私たちと一緒に活動してみませんか？

渡辺 和可さん

サイクル
インストラクターB
東京都在住

注：サイクルインストラクターBは、主にお子さんや初心者を教える資格です



同時にサイクリングガイド、並びにサイクルインストラクターさんなどの認定会員の方々への支援として、"ポスト・コロナ"に向け実力を蓄えていただくために、オンラインセミナーを開催いたしました。今後もオンラインセミナーは継続して参ります。

サイクリングツアーのみならず、自転車教室も中止が相次ぎ、活動が制限される一方、自転車は新しい生活様式の中では限りない可能性を秘めていることが、実感できる年でもありました。2021年JCTAは、①サイクリングガイドの養成、②サイクルインストラクターの養成③Bikeability自転車教室、そして新たな取り組みとしてスタートした④インバウンド英語講習の各分野に注力して参ります。

会員の声

Bikeability子供の教室

子供達に自転車の「安全」と「楽しさ」を伝えていきたい

茨城県は、つくば・霞ヶ浦りんりんロードを中心に自転車が盛り上がっています。

様々な方が気軽に、そして継続的に自転車に乗る習慣がつけば、自転車まちづくりに追い風です。

サイクルインストラクターとして、小さな子供達に自転車の「安全」と「楽しさ」を伝えて、地域づくりに貢献していきたいです。

伊藤 歩 さん

サイクル
インストラクターB
茨城県在住

茨城県稲敷市
地域おこし協力隊
サイクルツーリズム担当



会員の声

インバウンド英語講習

中学で学ぶ英語で外国人客をガイドする

ポスト・コロナを見据え、サイクリングガイド向けの英語学習プログラムをJCTAメンバーと共に開発しました。

インバウンド対応可能なサイクリングガイド育成のための英語講習プログラムです。中学で学ぶような易しい英語で外国人客をガイドするスキルを、実践を交えて学ぶもので、感染対策を考慮したオンライン版と、リアル開催の2つのパターンを、実施していければと思います。

松澤 憲司 さん

JCTA運営委員
サイクリングガイド
北海道在住

注：インバウンド英語講習プログラムの中心的メンバーとして、ご活躍いただいています



オンラインセミナー

スキルアップセミナーをオンラインで開催しました 2021年も継続して参ります。

2020年は会員間の交流やスキルアップを目的としたセミナー開催を予定しておりましたが、新型コロナ感染拡大に伴い、オンラインでスキルアップセミナーを開催することにしました。会員限定のセミナーですが、内容は録画し、セミナーアーカイブにて一般にも公開しています。	7/8 旅行業法 早わかり解説
	8/5 ガイドを守る賠償保険
	8/19 ツアー受託ノウハウと課題
	9/2 ツアー造成、コース作りと準備
	10/7 JCTA協賛企業によるe-Bike解説
	10/21 サイクルツーリズム地域活性化と自転車活用の拡大戦略
	11/18 e-Bikeを活用したツアー事例(1)
	12/2 事故に合わない自転車走行

ご協賛企業様一覧(50音順)

アサヒサイクル株式会社
井上ゴム工業株式会社
オージーケー技研株式会社
株式会社あさひ
株式会社サイクルスポット
サイクルヨーロッパジャパン株式会社
シマノセールス株式会社
ダイアテック株式会社
東工コーセン株式会社
パナソニックサイクルテック株式会社
有限会社アキコーポレーション
ブリヂストンサイクル株式会社
ヤマハ発動機販売株式会社

編集後記

2020年は誰もが想像しなかった年となりました。

人々の暮らしが一変し、その活動を根底から変えなければならぬということ自体に気づくのに時間がかかりました

JCTAも当初の予定を大幅に変更せざるを得ませんでした。反面このような時代において自転車というものの可能性を再認識することもできました。

2021年、JCTAにできることを真摯に考えていきます(理)